

避難所運営マニュアル概要版

一人ひとりが作業を分担し、助け合って避難所の運営に協力してください。
避難所を開設し、運営するのは、避難してきた皆さん自身です。

当面の活動を指示するリーダーを決めて、各チーム長を指名することによりチームごとに作業を進めます。

まずは、津波からの避難（校舎4階）

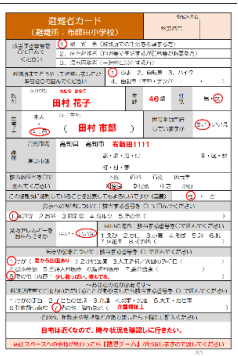
段階	必要な活動	内容
<p>避難所の受入れ準備ができるまでは、避難者は屋外で待機してください。</p> <p>避難者の状況を把握するため、避難者カードによる管理にご協力ください。</p> <p>避難者の皆さんで交代しながら、避難所運営を行います。</p>	<p>マニュアルの準備</p> <p>マニュアルに沿って、以下の作業ごとにチームを作ります。</p> <p>避難所の安全確認</p> <p>受付の設置</p> <p>避難所の区割り</p> <p>トイレの確保</p> <p>避難者の受付</p> <p>居住スペースへの誘導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●キーボックスから鍵を取り出して解錠する。 ●昇降口内の木箱から、避難所運営マニュアルを取り出す。 ●「避難所安全確認チェック票」を使用して安全確認をする。 ●受付の設置（2階体育館入口） ●各スペースの区割り ●簡易トイレなどを使用してトイレを確保する。 ●避難者の受付 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2階体育館入口にて「避難者カード」を配布します。 ➢ 各居住スペースに誘導し、「避難者カード」を記入してもらいます。 ➢ 記入できた人の「避難者カード」を回収します。 ●トイレの使用状況を巡回確認する。 ●傷病者や要配慮者が避難してきた場合は所定のスペースへ ●ペットは、ペットスペースへ ●食料や物資の配給 ●通信手段（防災行政無線など）を確保して災害対策本部と連絡
	<p>トイレの巡回確認</p> <p>傷病者の把握・応急対応</p> <p>要配慮者の把握・生活支援</p> <p>ペットの受入れ</p> <p>食料・物資の配給</p> <p>被災者への情報伝達</p> <p>災害対策本部との連絡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な班に分かれて、協力して運営 ●全員で掃除して撤収！
	<p>避難所の運営</p> <p>避難所の撤収</p>	

避難所を開設するための準備

避難者の受入れ

運営

撤収



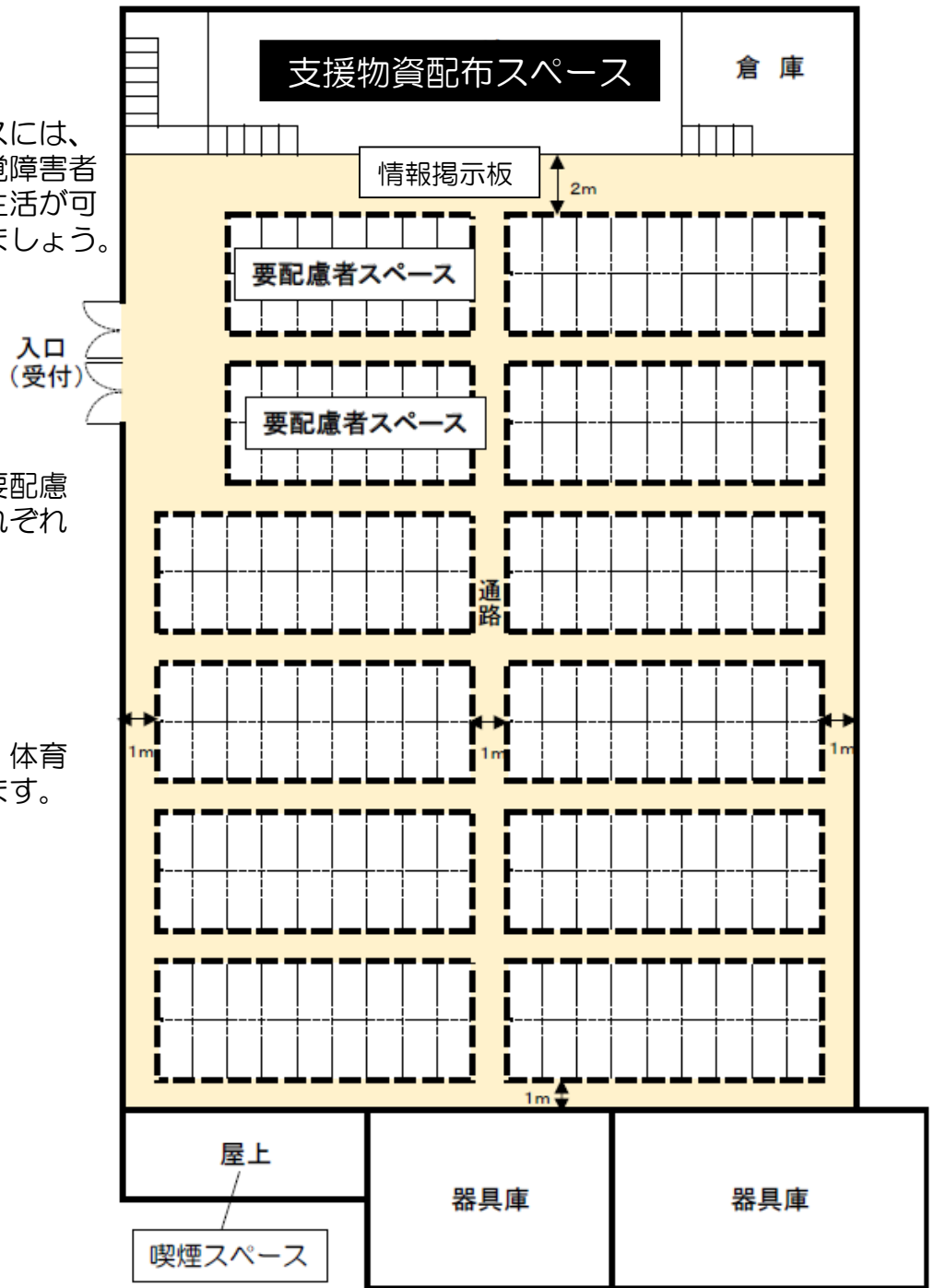
配置計画図（体育館）

※ 原則として体育館を居住スペースとして使用します。

※要配慮者スペースには、視覚障害者、聴覚障害者など大部屋での生活が可能な方を誘導しましょう。

※一般避難者用と要配慮者用の受付をそれぞれ構えましょう。

※防災行政無線は、体育館放送室にあります。



感染症対策の考え方

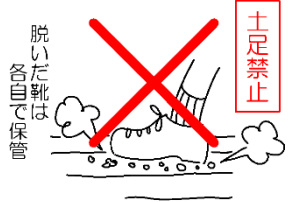
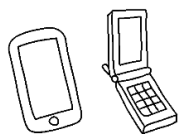
- 発熱など体調不良者（付添人を含む）の居住スペースとそれ以外の避難者の居住スペースを区分し、各スペース間の往来を禁止するように呼び掛けましょう。（事前に施設管理者などと協議し、スペースについて検討しておきましょう。）
- 居住スペースでは、感染拡大防止のため、各世帯同士の距離を2m以上開けてもらうように努めましょう。
- 体調不良者の居住スペースでは、避難者同士の距離を2m以上開けることに加えて、段ボール間仕切りなどを用い、個別スペースを確保しましょう。


大規模災害時にすべての項目を実施するのは困難ですが、可能な限り対応しましょう。


一宮東小学校 避難所生活のルール

避難所では、避難者みんなが協力して生活します！


< 全体 >

- 避難者の状況を名簿で把握しますので、入退出の際には受付に申し出てください。
- 居住スペースは土足禁止とし、脱いだ靴は各自で保管します。
- 居住スペースは、一定落ち着いてきた時点で再配置を行います。
- 被災により危険が生じた部屋は使用できません。「立入禁止」「使用禁止」「利用上の注意」などの張り紙の内容には必ず従ってください。
- 大規模な余震により、津波や建物使用禁止のおそれがある場合は、再避難も考えられます。その場合は落ち着いて指示に従ってください。
- 居住スペースおよび世帯スペースは、一般の「家」同様、みだりに立ち入ったりのぞいたりしないようにしてください。
- 居住スペースでの個人のテレビやラジオなどの視聴は、周囲の迷惑とならないようにしてください。視聴する場合は、イヤホンを使用してください。

マナーモードにする。
夜間の居住スペースでは使用しない。
- ペットは指定された場所で、必ずケージに入れるかリードによりつなぎとめて飼育してください。
- 飼育場所は、飼い主が常に清潔にし、必要に応じて消毒を行ってください。

リードでつなく
- ペットの排便などは、飼い主の管理のもと、排便させ、後片付けを必ず行ってください。
- 自動車内で避難する場合、エコノミークラス症候群などの症状が発生する可能性があります。こまめに体を動かしましょう。

ケージに入れる
- 避難所には、要配慮者など配慮が必要な方が一緒に生活しています。お互いに助け合い、協力しましょう。

足の運動例
- 避難所では、常にマスクを着用しましょう。咳エチケットにもご協力ください。
- 食事の前やトイレ使用时、ごみを捨てた後など、こまめに手洗い・消毒をしましょう。

足を上下につま先立ちする
つま先を引き上げる
ふくらはぎを軽く揉む

情報は、掲示板に掲示しますので、ご確認ください。

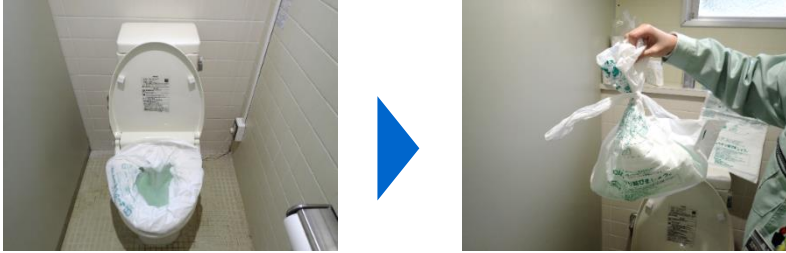
＜トイレの使用ルール＞

【トイレの使用について①】

水洗トイレで配管が破損している、もしくは状況が不明な場合

- 配管の破損状況が確認できないため、水を流すことは禁止とします。
- 携帯トイレを使用して、個室スペースとして利用します。

携帯トイレの使用方法イメージ



【トイレの使用について②】

便器が破損するなど、危険な状況にある場合

- 敷地内のトイレは立入禁止とします。
- 屋外に仮設トイレを設置します。
- 簡易トイレや携帯トイレを用いる場合は、テントなどを使用して、プライバシーを保護するスペースを確保します。

簡易トイレ、携帯トイレのイメージ

仮設トイレのイメージ



簡易トイレ ※組立が必要なものもあります。



携帯トイレ



◎共通事項

- ※体調不良者とその他の方が使用するトイレを分けます。
- ※トイレの出入口に手指消毒液を設置します。